

第3部 環境教育に関する研修

本年度の環境教育研修会は、平成21年8月28日、午後2時～午後4時30分に実践報告を中心に実施した。幼稚園、小学校、中学校からそれぞれの取り組みを発表していただいた。

異種校園の興味深い実践を聞くことができたとは好評であった。また、幼児児童生徒の発達段階にあった環境教育の在り方と異種校園の連携の大切さを改めて確認できた。

<実践報告の概要>

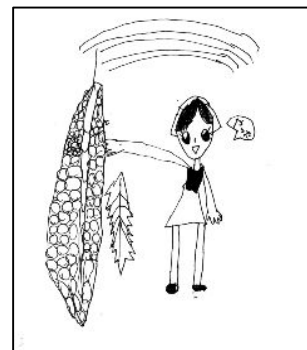
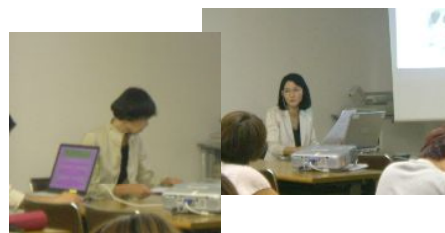
1. 「緑いっぱい、花いっぱい、夢いっぱいの幼稚園をめざして」

発表者 大阪市立旭東幼稚園 園長 小磯 久美子

大阪市立粉浜幼稚園 園長 河村 圭子

大阪市立旭東幼稚園では、ニガウリ、ヒョウタン、コツマンキン、エビスナンキン、アサガオを壁面緑化に導入した。大阪市立粉浜幼稚園では、園舎の2階の壁面にニガウリを、園庭に設置したテントの支柱につるが巻き付くようにヘチマ、ヒョウタン、コツマンキン、フウセンカズラを栽培した。

いずれの園においても、園児がさまざまな活動を通して壁面緑化にかかわる工夫をした結果、園児は生物の命の尊さに気付き、それらを大切にしようとする気持ちを高めたという成果をあげた。



2. 「壁面緑化は土づくりから」

発表者 大阪市立今福小学校 教諭 岡山 雅也

大阪市立今福小学校 管理作業員 山田 清志

企業から寄贈された植物の苗も利用して、東側校舎に位置する講堂と南側校舎に位置する多目的室と管理作業員室前の1～3階にヘチマ、ヒョウタン、ニガウリを導入した壁面緑化を設置した。管理作業員室前は、第4学年の理科学習に、講堂前は地域住民とともに組織した壁面緑化委員会の活動に、多目的室前は第5学年の理科学習にと壁面緑化を活用した。



植物の栽培・育成に欠かせない栄養豊かな土づくりや育成及び灌水の方法について管理作業員から指導を受け、第4・5学年の児童が、栽培活動を担った。

つる性植物は、給食からでた残滓を利用して作った堆肥によって校舎の3階の壁面を覆うように成長した。その結果、緑化した教室の室温が低下したという成果を得た。



3. 「中学校における壁面緑化の取り組み」

発表者 大阪市立豊崎中学校 教諭 加藤 健太郎

平成19年度西側校舎の一階部分に壁面緑化を設置し、壁面緑化が室温及び壁面表面温度の低下、室内温熱環境の改善に効果があることを明らかにした。平成20年度は、設置場所を2階部分まで広げ、ニガウリとリュウキュウアサガオの2種の植物を栽培し、「校内緑化プロジェクトチーム」を中心に活動を展開することとし、その重点課題を壁面緑化とその周辺に出現する生物の生態調査として活動した。



生態調査の結果、生徒に植物とそこに飛来する動物とのかかわりの深さを理解させることができた。

